

第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

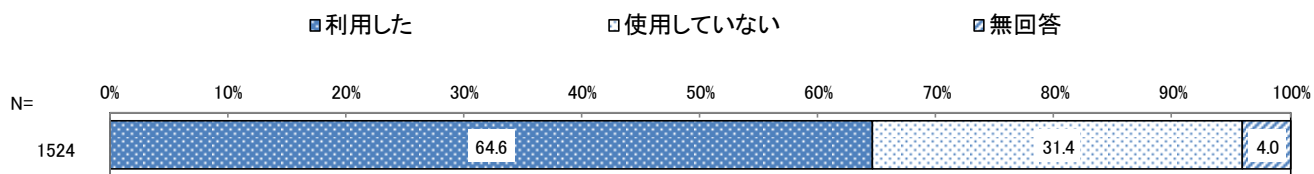
1. 現在利用している介護保険サービスについて

(1) 令和元年6月の介護保険サービス利用

① 令和元年6月の介護保険サービス利用の有無

問 16 令和元年6月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-1-1 令和元年6月の介護保険サービス利用の有無】



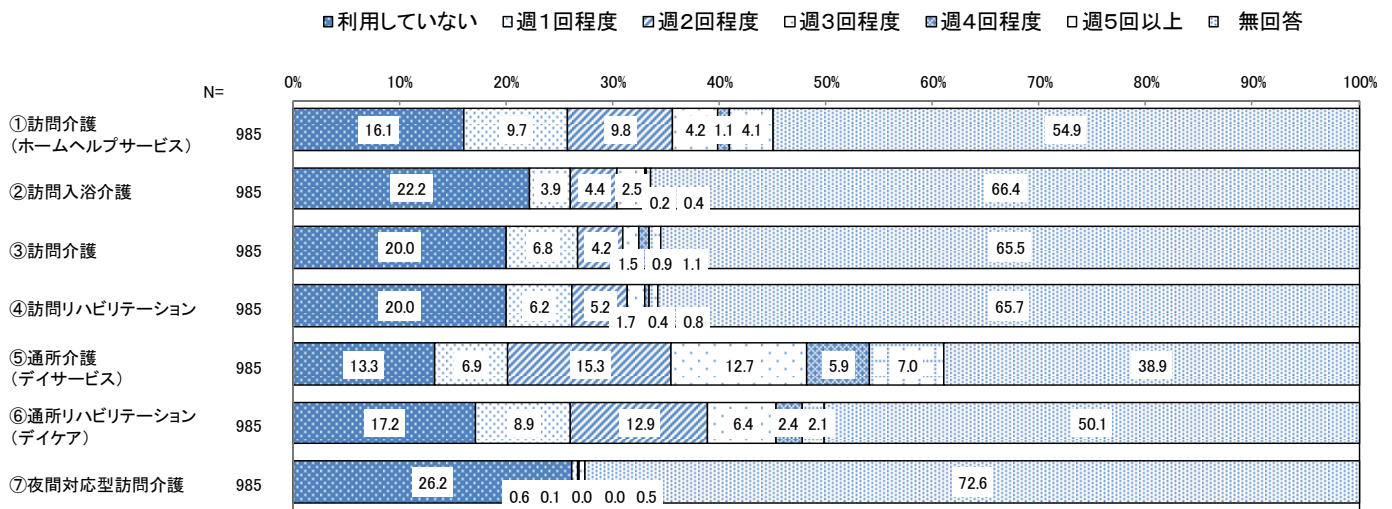
令和元年6月の介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が64.6%、「使用していない」が31.4%となっている。

②令和元年6月の介護保険サービス利用状況

問16で「1」と答えた方にうかがいます。

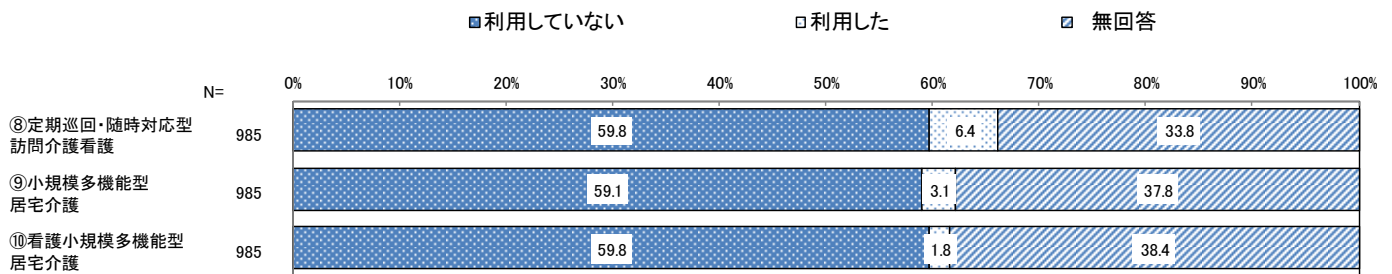
問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和元年6月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください。（1つのサービスにつき、○を1つ）

【図表 5-1-2 令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1週間当たりの利用回数）】



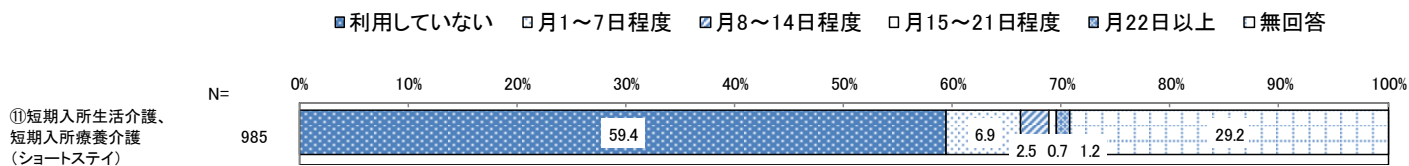
令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1週間当たりの利用回数）をみると、『利用している』（「週1回程度」「週2回程度」「週3回程度」「週4回程度」「週5回以上」の合計）の割合は、「通所介護（デイサービス）」が47.8%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が32.7%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が28.9%となっている。

【図表 5-1-3 令和元年6月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）】



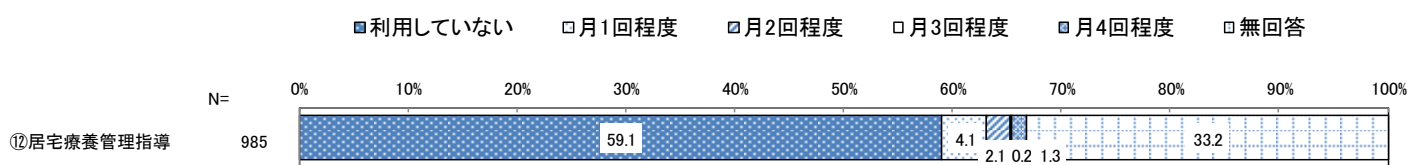
令和元年6月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）をみると、「利用した」の割合は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が6.4%、「小規模多機能型居宅介護」が3.1%、「看護小規模多機能型居宅介護」が1.8%となっている。

【図表 5-1-4 令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）】



令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）をみると、「短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ）」は、「利用していない」が59.4%で最も高く、次いで「月1～7日程度」が6.9%、「月8～14日程度」が2.5%となっている。

【図表 5-1-5 令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）】

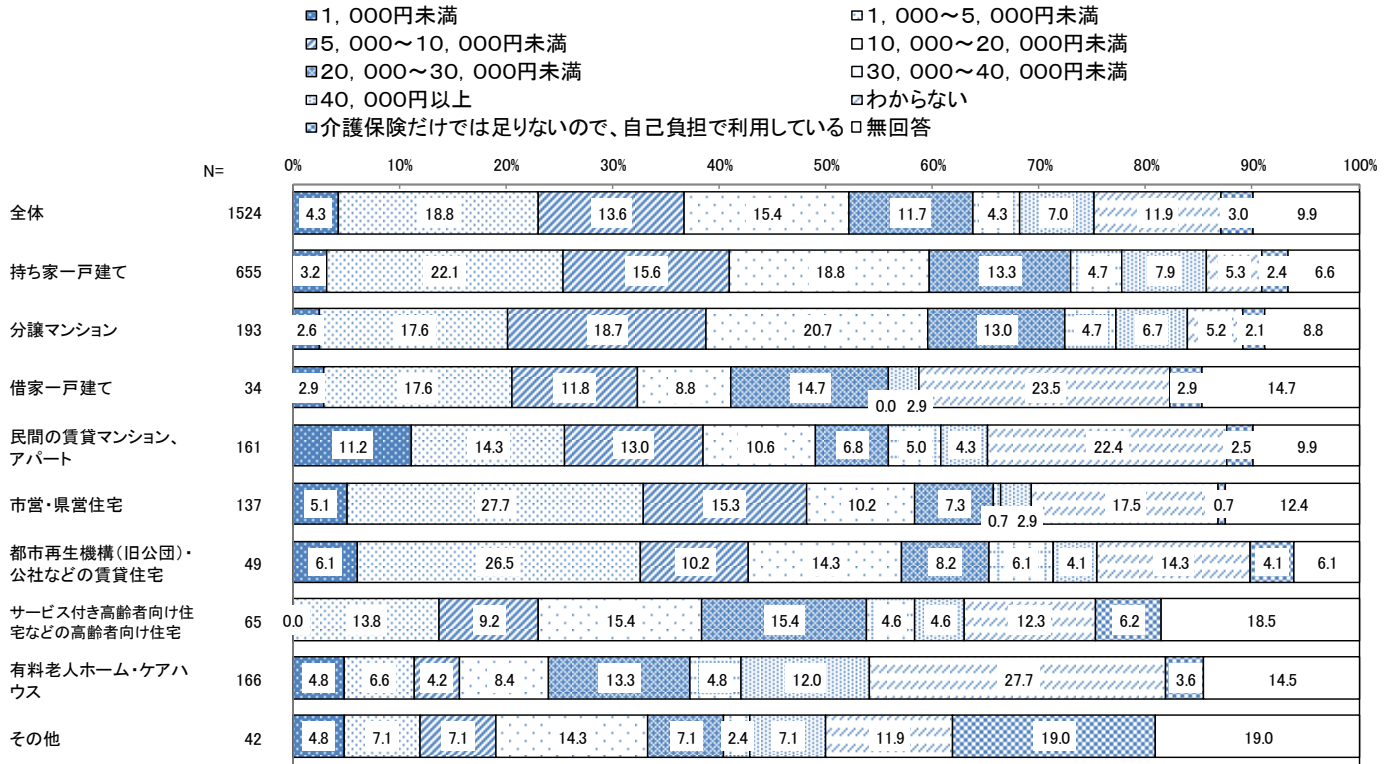


令和元年6月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）をみると、「居宅療養管理指導」は、「利用していない」が59.1%で最も高く、次いで「月1回程度」が4.1%、「月2回程度」が2.1%となっている。

(2) 1か月あたりの利用料金

問 17 1か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金（1割、2割または3割負担）はおいくら程ですか。（○は1つ）

【図表 5-2-1 1か月あたりの利用料金×住まい別】



1か月あたりの利用料金は、「1,000～5,000円未満」が18.8%で最も高く、次いで「10,000～20,000円未満」が15.4%、「5,000～10,000円未満」が13.6%となっている。

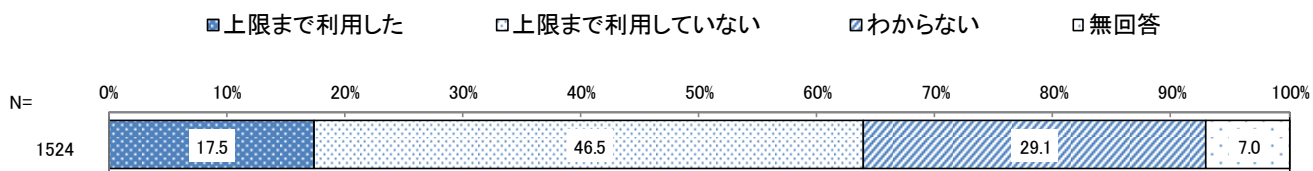
住まい別にみると、「40,000円以上」の割合が、有料老人ホーム・ケアハウスでは12.0%と他の住まいよりも高くなっている。

(3) 利用額上限までの利用

① 利用額上限までの利用の有無

問 18 令和元年6月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-3-1 利用額上限までの利用の有無】



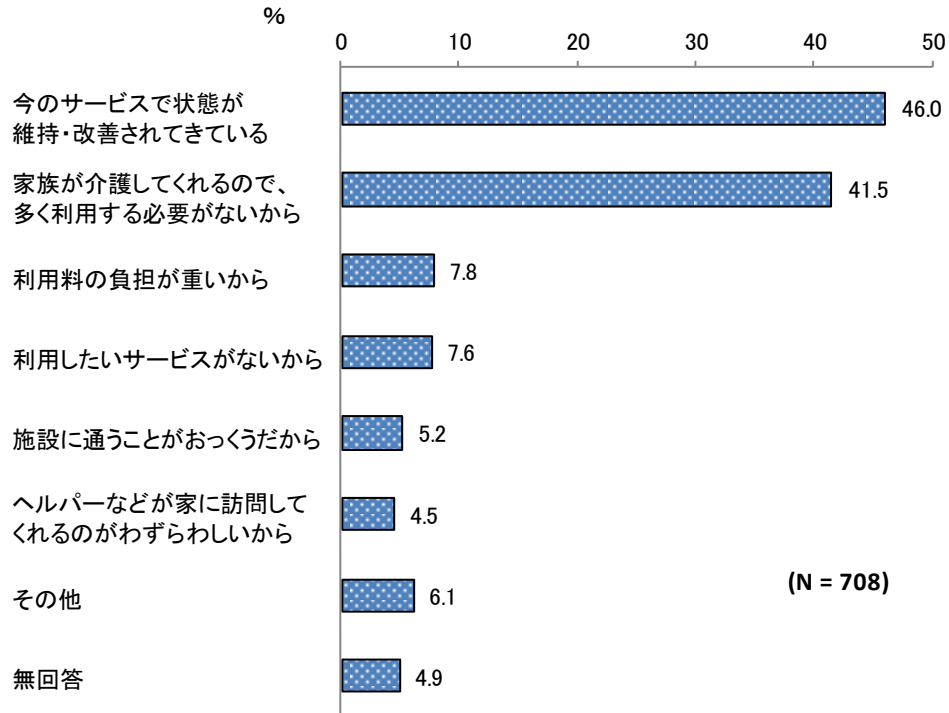
介護保険サービスの利用状況は、「上限まで利用していない」が46.5%、「上限まで利用した」が17.5%となっている。

②利用額上限までの利用していない理由

問 18 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 18-2 上限まで利用していない理由は何ですか。(○は2つまで)

【図表 5-3-2 利用額上限までの利用していない理由】



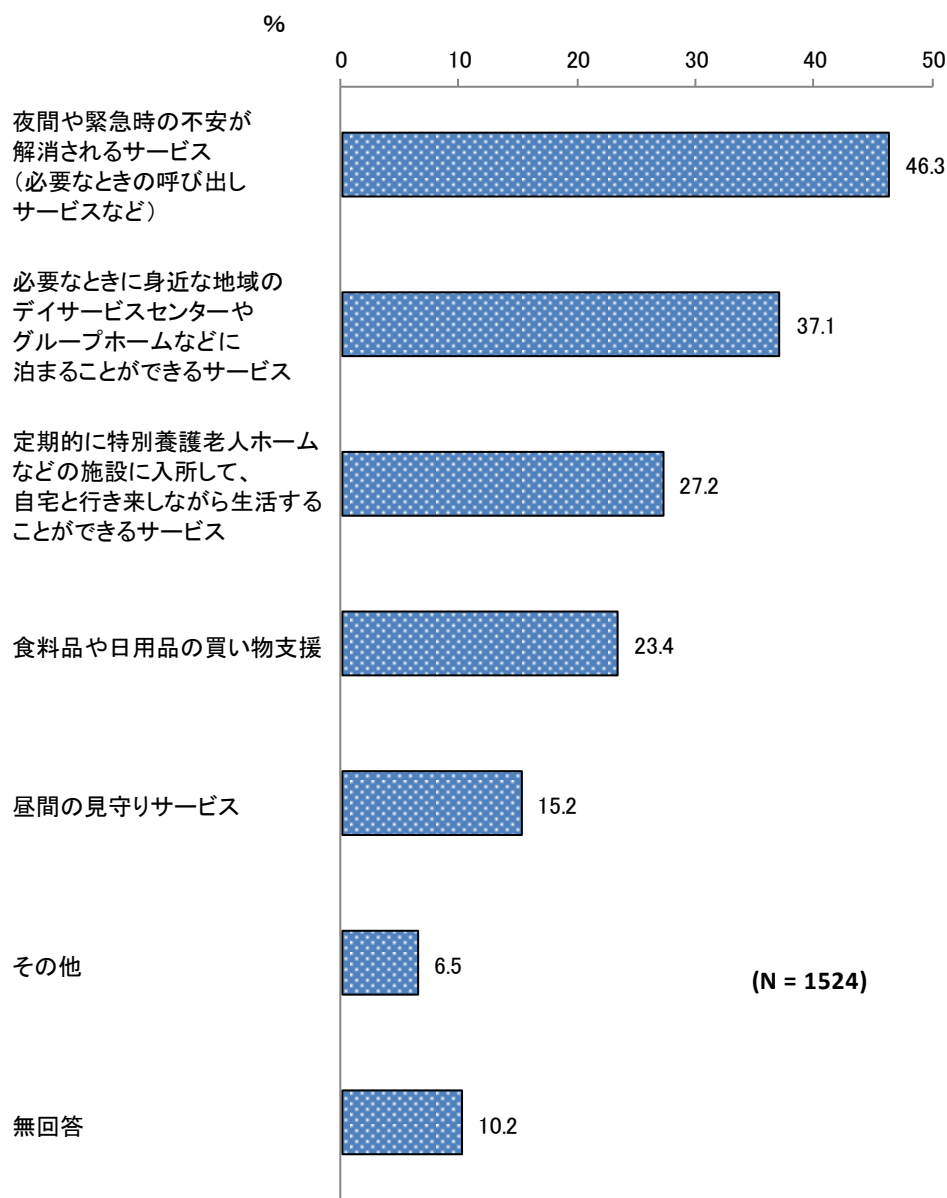
利用額上限までの利用していない理由は、「今のサービスで状態が維持・改善されてきている」が46.0%で最も高く、次いで「家族が介護してくれるので、多く利用する必要がないから」が41.5%となっている。

2. 今後の介護・医療について

(1) 在宅生活で必要性が高いサービス

問 25 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 5-4-1 在宅生活で必要性が高いサービス】



在宅で生活するために必要性が高いと思うサービスは、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が 46.3%で最も高く、次いで「必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス」が 37.1%、「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することのできるサービス」が 27.2%となっている。

【図表 5-4-2 在宅生活で必要性が高いサービス×要介護度別】

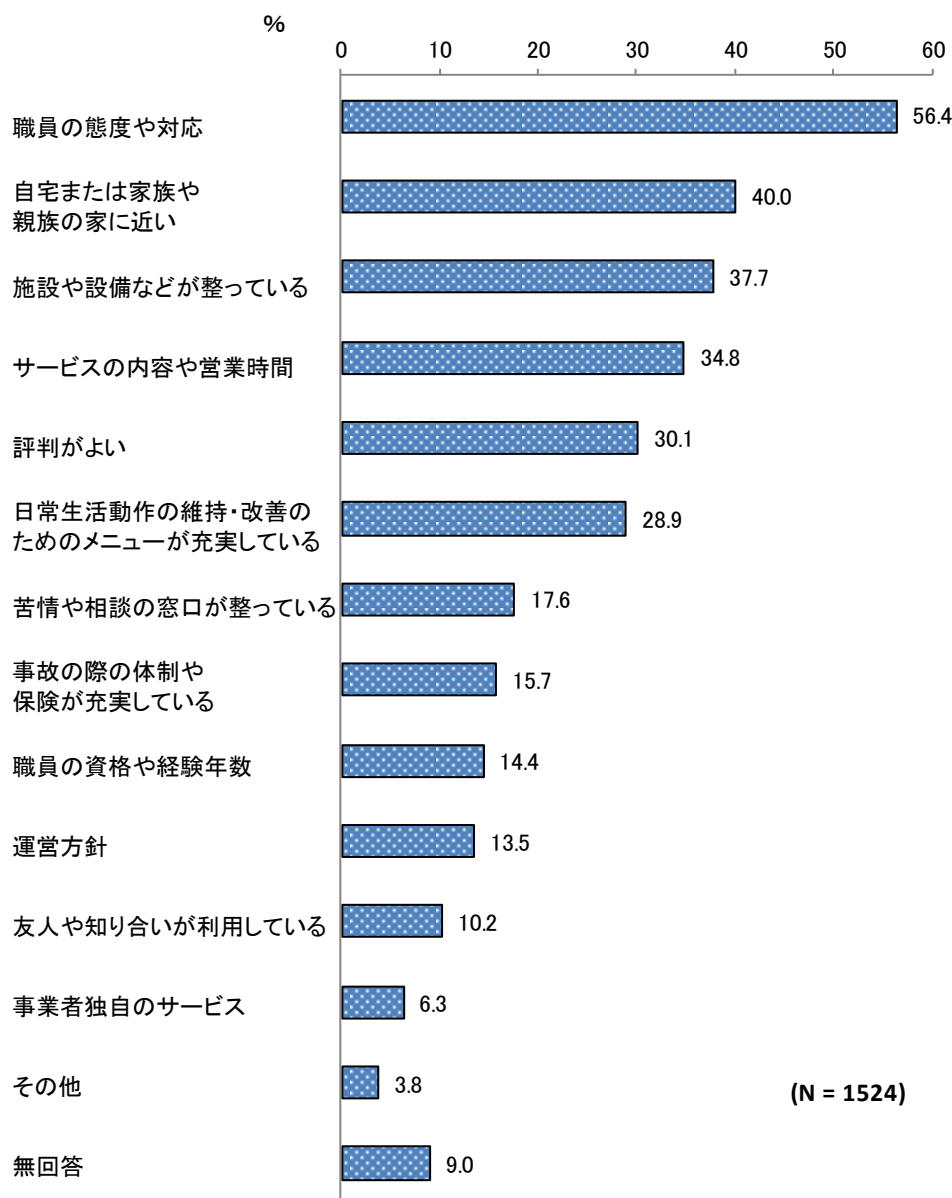
		回答数	しへ必要とするサービスなど～呼び出し～	夜間や緊急時の不安が	ス屋間の見守りサービス	きなど泊まることなどが	タのデイサービスに近	域の必要とするサービス	がしながら生活すること	所し、自宅と行き来	ホ定期的な特別養護老人	定食的に特別養護老人	い食料品や日用品の買	その他	無回答
全体		1524	46.3	15.2	37.1	27.2	23.4	6.5	10.2						
要介護度別	要支援1	290	43.1	10.3	26.2	23.8	25.2	8.3	13.1						
	要支援2	265	48.3	13.2	34.7	28.3	29.1	4.2	9.4						
	要介護1	290	48.3	15.2	39.7	22.8	27.2	6.2	7.9						
	要介護2	280	50.0	18.9	45.7	29.3	23.2	5.7	7.1						
	要介護3	174	43.1	17.8	36.2	33.9	16.7	8.0	10.3						
	要介護4	110	44.5	17.3	50.0	33.6	10.9	7.3	9.1						
	要介護5	62	48.4	25.8	37.1	27.4	12.9	11.3	12.9						
	わからない	18	50.0	11.1	11.1	11.1	22.2	5.6	33.3						

3. 介護保険制度全般について

(1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること

問 31 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 5-5-1 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること】

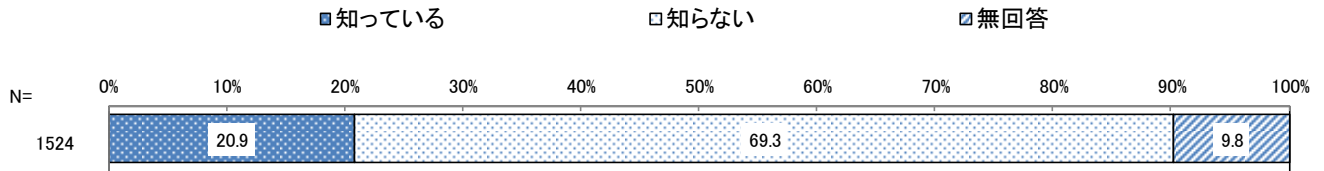


介護サービス事業者を選ぶ際に重視することは、「職員の態度や対応」が 56.4%で最も高く、次いで「自宅または家族や親族の家に近い」が 40.0%、「施設や設備などが整っている」が 37.7%となっている。

(2) 小規模多機能型居宅介護の認知度

問 33 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-6-1 小規模多機能型居宅介護の認知度】



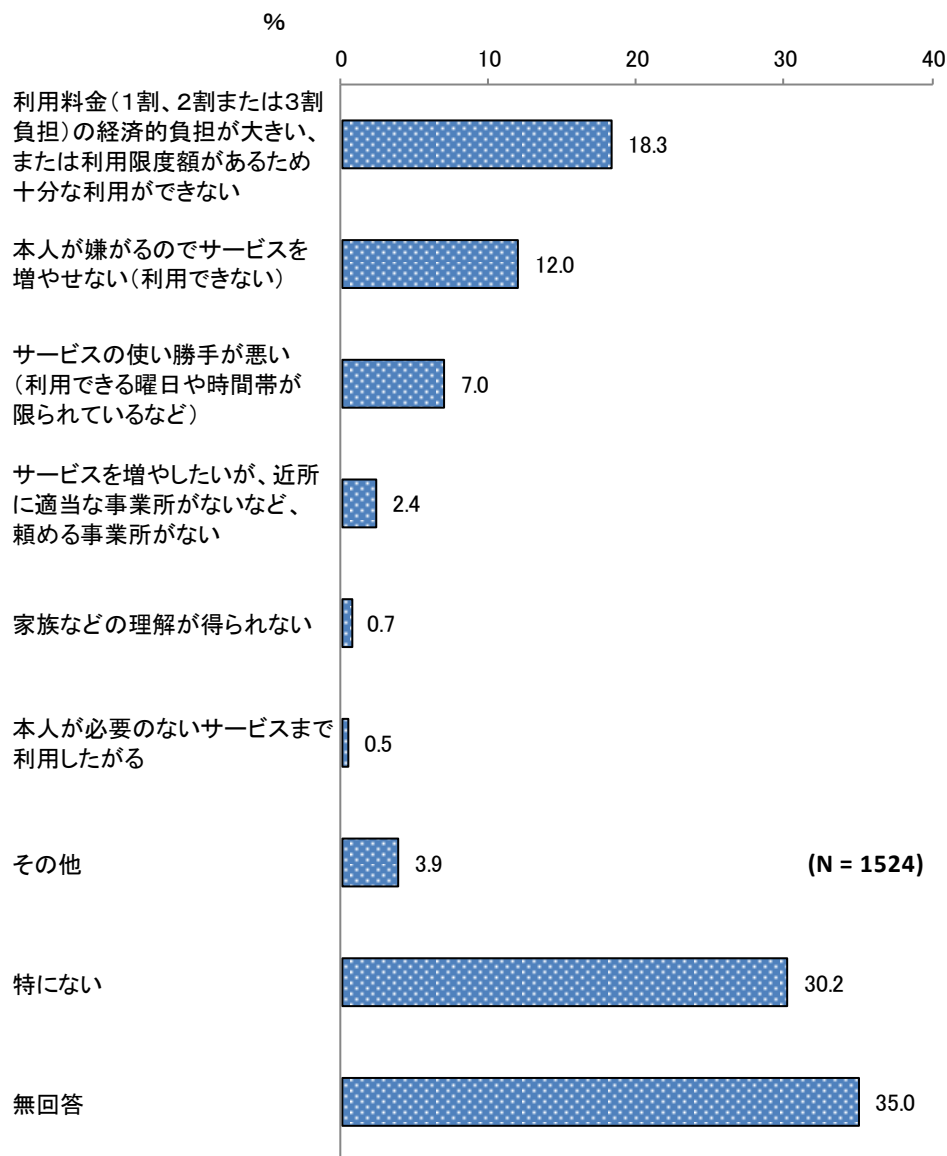
小規模多機能型居宅介護の認知度は、「知っている」が20.9%、「知らない」が69.3%となっている。

4. 家族の回答

(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

問 44 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 5-7-1 介護保険サービスを利用する上で困っていること】



介護保険サービスを利用する上で困っていることは、「特になし」が 30.2%で最も高く、次いで「利用料金(1割、2割または3割負担)の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない」が 18.3%、「本人が嫌がるのでサービスを増やせない(利用できない)」が 12.0%となっている。